

連結決算補足説明資料

2020年3月期

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年5月13日

(証券コード：9640)

株式会社 **セゾン情報システムズ**

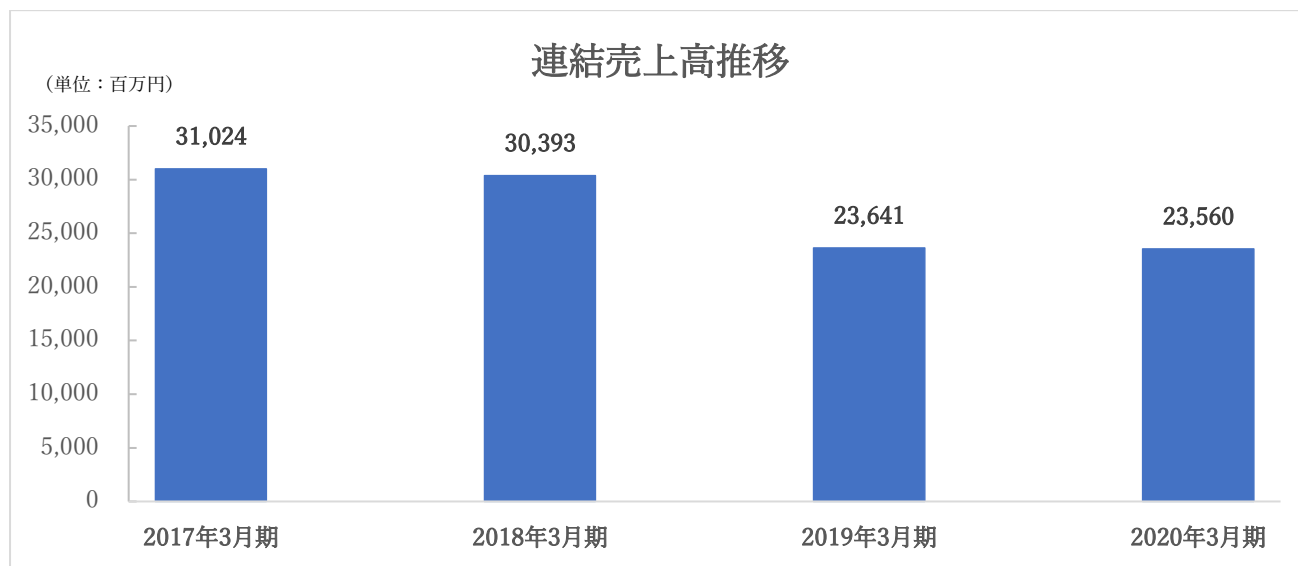
目次

1. 連結売上高・連結営業利益推移
2. 事業セグメント別の損益状況
 - ① Fintech プラットフォーム事業
 - ② 流通 IT サービス事業
 - ③ HULFT 事業
3. 新技術・新領域進捗状況
4. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益推移

■連結売上高



<当連結会計年度>

当連結会計年度は、新たな事業領域の拡大に向けた取り組みを継続しており、通期計画（23,500百万円*）に対して順調に推移しました。*2020年2月28日に業績予想を修正しております。

<2019年3月期（通期）>

- 大型システム開発が完了していることから売上高は減少したものの計画達成
- 新技術・新領域へ事業展開の取り組みを強化
- 流通ITサービス事業においてデータ連携サービス（リンケージサービス）が順調に増加（前期比45百万円増）
- HULFT事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上高も好調で過去最高売上高を達成（前期比321百万円増）
- 子会社株式会社アプレッソを2019年4月1日付で吸収合併（⇒適時開示、2019年1月30日）

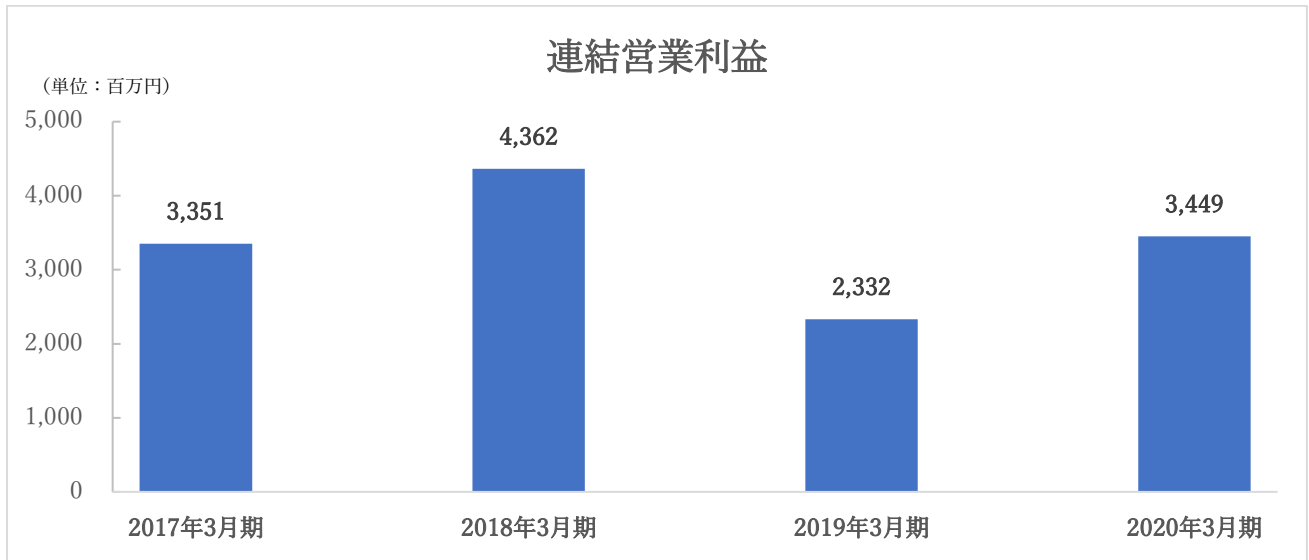
<2018年3月期（通期）>

- 大型システム開発完了・稼動しカードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上高に大きく貢献（前期比774百万円増）
- HULFT事業ライセンス/サービス、サポート売上高好調（前期比258百万円増）
- 子会社である株式会社フェスを2018年1月に事業譲渡（⇒適時開示、2017年11月29日）

<2017年3月期（通期）>

- カードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上高回復（前期比1,937百万円増）
- その他事業（株式会社フェス等）売上高が順調に進捗（前期比1,142百万円増）

■連結営業利益



<当連結会計年度>

当連結会計年度の営業利益は、計画に対して順調に推移しており、特に、HULFT 事業のライセンス販売及びサポートサービスが好調であったこと等を背景として、通期計画（2,800 百万円*）に対して上回る結果となりました。*2020年2月28日に業績予想を修正しております。

<2019年3月期（通期）>

- 売上高同様、前連結会計年度に大型システム開発案件が完了したことにより利益減少したものの計画値は達成
- HULFT 事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調であったことに伴い利益増加（前期比 426 百万円増）

<2018年3月期（通期）>

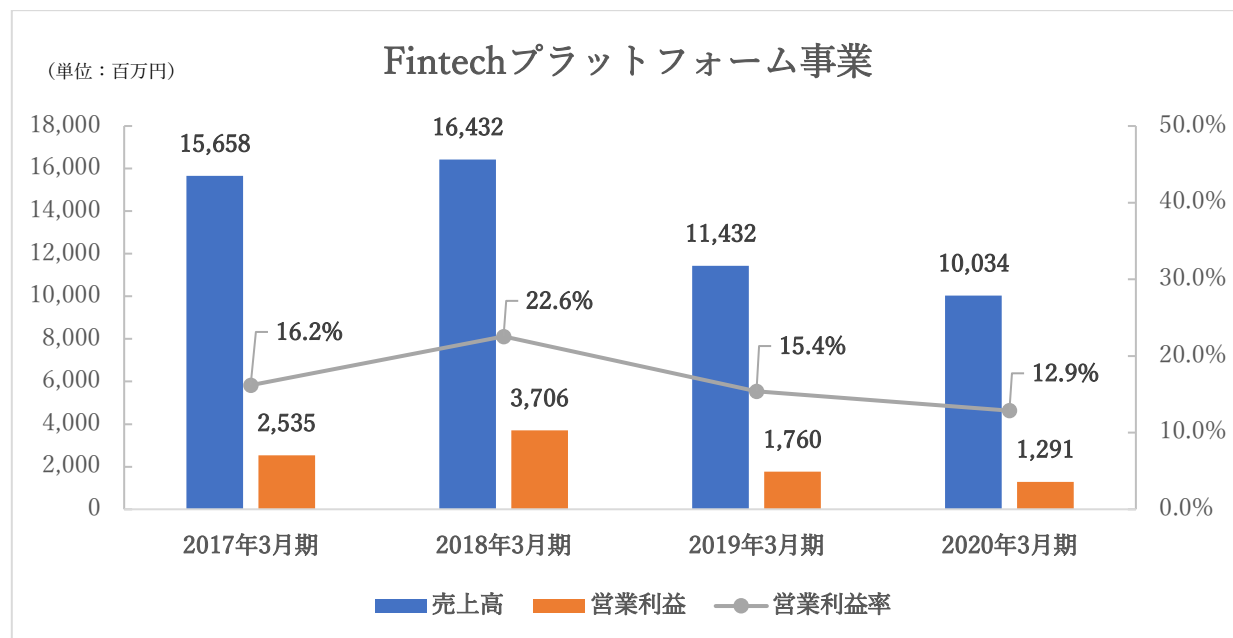
- カードシステム事業（現 Fintech プラットフォーム事業）売上高増加及び新旧システム並行稼働による一時的な収益性向上による利益増加（前期比 1,170 百万円増）
- 流通・IT ソリューション事業（現 流通 IT サービス事業）において前期計上の解約損失引当金の影響により利益増加（前期比 859 百万円増）

<2017年3月期（通期）>

- カードシステム事業（現 Fintech プラットフォーム事業）売上高増加に伴う利益増加（前期比 1,199 百万円増）
- 前期に赤字であった BPO 事業を譲渡したことによる利益体質改善（前期比 1,253 百万円増）

2. 事業セグメント別の損益状況

① Fintech プラットフォーム事業



当連結会計年度については、決算短信に記載のとおりです。

<2019年3月期（Fintechプラットフォーム事業）>

- 大型システム開発が完了したこと等により売上高減少（前期比 5,000 百万円減）
- 大型システム開発に伴う売上高減少及び一時的な高利益率状態の解消により営業利益減少（前期比 1,946 百万円減）

(注) 2018年4月1日付で「カードシステム事業」を「Fintechプラットフォーム事業」に名称変更しています。

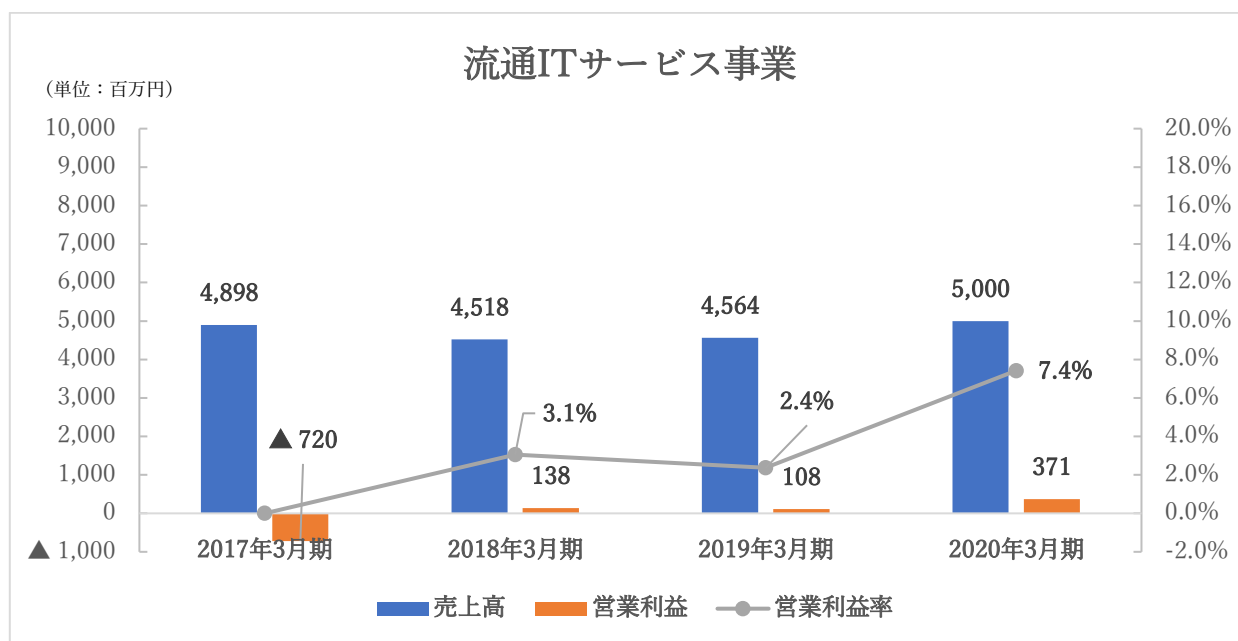
<2018年3月期（カードシステム事業）>

- 顧客向けシステム開発及び情報処理サービスが増加したことによる売上高増加（前期比 774 百万円増）
- 大型システム開発に伴う売上高増加及び一時的な高利益率状態による営業利益増加（前期比 1,170 百万円増）

<2017年3月期（カードシステム事業）>

- 製品保証対応等により一時的に減少したシステム開発及び情報処理サービスが回復したことによる売上高増加（前期比 1,937 百万円増）
- 売上高の回復に伴う利益改善（前期比 1,199 百万円増）

② 流通 IT サービス事業



当連結会計年度については、決算短信に記載のとおりです。

<2019年3月期（流通ITサービス事業）>

- システム開発においては当社の強みが活きる分野に選択と集中を図り、データ連携サービスの積極的な事業展開をおこなったことで案件が順調に増加したことにより、売上高やや増加（前期比45百万円増）

(注) 2018年4月1日付で「流通・ITソリューション事業」を「流通ITサービス事業」に名称変更しています。

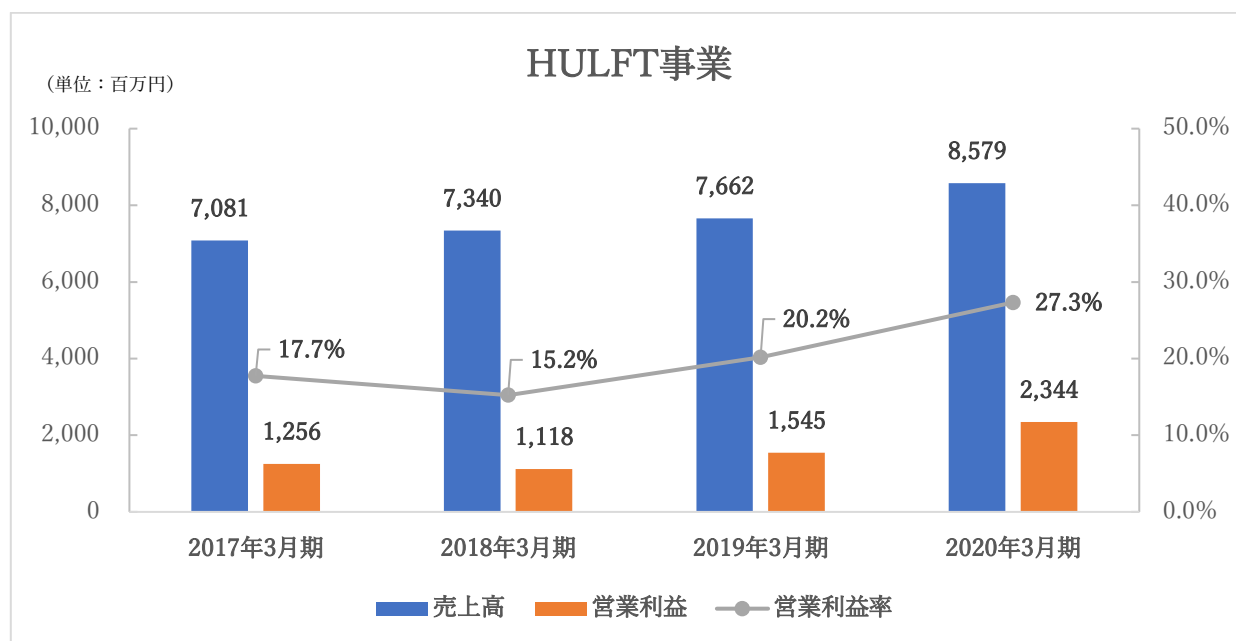
<2018年3月期（流通・ITソリューション事業）>

- 既存顧客向けシステム開発が減少したことにより売上高減少（前期比380百万円減）
- 生産性向上による収益性向上や前期に計上したプロジェクト開発中止に係る損失が収斂したことにより営業利益が改善（前期比859百万円増）

<2017年3月期（流通・ITソリューション事業）>

- システム開発案件及び情報処理サービスが減少し売上高減少（前期比472百万円減）
- 解約損失引当金繰入額の計上により営業損失を計上

③ HULFT 事業



当連結会計年度については、決算短信に記載のとおりです。

<2019年3月期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の月額利用サービス販売が拡大し、ストック型ビジネスの売上高に占める割合が増加したことによる売上高やや増加（前期比 321 百万円増）
- 売上高が順調に推移したこと及び利益率の向上により利益増加（前期比 426 百万円増）

<2018年3月期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の保守サービス販売が増加したことによる売上高増加（前期比 259 百万円増）
- テクニカルサポート、グローバル拡販体制の強化及びマーケティング活動推進等により販売費及び一般管理費が増加したことによる営業利益減少（前期比 138 百万円減）

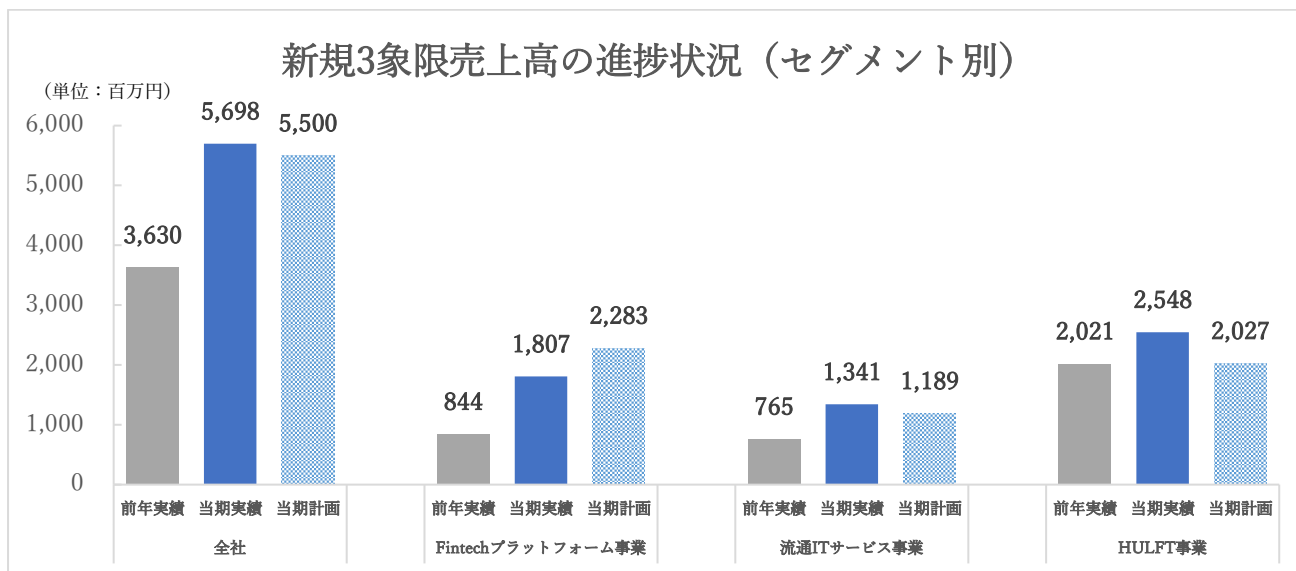
<2017年3月期>

- 「HULFT」「DataSpider」及びHULFTファミリー製品等のサポートサービスは順調に推移したものの、前期にライセンス販売の大型案件があったこと等により売上高が減少（前期比 179 百万円減）
- 戦略的な投資拡大のため費用が増加し営業利益が減少（前期比 1,503 百万円減）
- グローバル展開の一環として、北米地域への拡販を主な目的とし、アメリカ合衆国現地法人 HULFT, Inc. を設立（2016年4月）

3. 新規3領域進捗状況

■事業方針

当社グループは、事業領域の拡大と先端技術を駆使した提案型ビジネスへ事業モデル刷新を実現するため、新技術・新領域への事業領域拡大を経営目標として掲げております。新技術・新領域への事業領域拡大は、事業を4つの象限に区分して象限別に進捗管理を実施しています。この4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高は、経営指標として設定しております。



■全社

当連結会計年度の計画において、4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高計画値は5,500百万円としています。当連結会計年度での実績は5,698百万円で、計画に対する達成率は103.6%となっており、計画を達成することができました。各セグメントの実績は以下のとおりです。

■Fintechプラットフォーム事業

Fintechプラットフォーム事業は、通期計画2,283百万円に対して、当連結会計年度での実績は1,807百万円となり、計画値には届かず達成率は79.2%です。

■流通ITサービス事業

流通ITサービス事業は、通期計画1,189百万円に対して、当連結会計年度での実績は1,341百万円であり、計画を上回り達成率は112.8%です。

■HULFT事業

HULFT事業は、通期計画2,027百万円に対して、当連結会計年度での実績は2,548百万円であり、計画を大きく上回り達成率は125.7%です。

4. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2020年1月1日～3月31日）

● 【HULFT/DataSpider】 ITreview Grid Award 2020 Winter アワードを受賞

⇒国内シェア No.1 ファイル連携ミドルウェア「HULFT」は、アイテッククラウド社主催の

「ITreview Grid Award 2020 Winter」において、高いユーザー評価をいただき、顧客満足度と認知度の双方が優れた製品として前回に引き続きデータ連携部門の「Leader」に選出。

⇒国内6年顧客満足度 No1 の DataSpider が、同部門において「High Performer」に同アワードの2019 Summer より引き続き選出。

● セゾン情報システムズ、「BlackLine リンケージサービス」を2020年4月より開始

⇒ブラックライン株式会社（日本法人：東京都港区）が提供する経理財務自動化ソリューション

「BlackLine」とセゾン情報システムズが提供するデータ連携ソリューションである

「DataSpider Servista」を組み合わせた「BlackLine リンケージサービス」を2020年4月から提供。

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

経営推進部 IR担当

Tel：03-6370-2930

URL：<https://home.saison.co.jp/>